

## 2021年度 第2回 帝京大学医学部附属病院 監査委員会要旨

1. 日時：2022年3月7日（月）13時57分～15時50分
2. 場所：帝京大学板橋キャンパス 本部棟4階会議室2
3. 委員：寺尾壽夫(委員長)、秦奈峰子(外部委員)、森唯章(外部委員)、川村雅文(学内委員)  
病院側：坂本哲也(病院長)、澤村成史(安全管理副院長、医療安全管理責任者)、  
河内正治(安全管理部長、専従安全管理担当医師)、  
上妻謙(安全管理担当副院長補佐、医療機器安全管理責任者、  
インフォームドコンセント管理責任者)、  
山本貴嗣(総務担当副院長、診療録管理責任者)、  
河野博隆(診療担当副院長、診療録記載改善委員会委員長)、  
安野伸浩(薬剤部長、医薬品安全管理責任者)、土谷明子(看護部長)、  
大滝恭弘(医療共通教育研究センター)、和久正志(事務長・書記)、  
稲垣宏治(事務次長兼総務課長、内部通報窓口担当者)、  
矢口成美(総務課長補佐、内部通報窓口担当者)、根岸希三子(安全管理部)
4. 委員が確認した内容
  - (1) ヒヤリハット・アクシデント報告件数の推移
  - (2) ヒヤリハット・アクシデント報告件数増加の要因について
  - (3) 報告書のレベル別提出期限
  - (4) 転倒転落への対応ルールについて
  - (5) 死亡・死産の報告件数について
  - (6) 日本私立医科大学協会医療安全相互ラウンドについて
  - (7) 高難度新規医療技術評価委員会の活動実績
  - (8) 未承認新規医薬品等評価委員会の活動実績
  - (9) 適応外医薬品等評価委員会の活動実績
  - (10) 症例カンファレンス記録について
  - (11) 新型コロナウイルス感染症における抗ウイルス薬(アビガン/ベクルリー)の委員会審査件数について
  - (12) 職員に対する医療安全研修および教育(e-Learning)について
  - (13) 院内医薬品の使用状況
  - (14) 新型コロナウイルス感染症における特例承認医薬品採用に伴う処方時のチェックシートについて
  - (15) 医療機器の保守点検の実績
  - (16) 医療機器安全使用研修の実績
  - (17) 医療機器のヒヤリハット・アクシデント報告について

- (18) インフォームドコンセント取得に関する取り組みについて
- (19) インフォームドコンセント記録の標準化について
- (20) インフォームドコンセント時の看護師や他職種の同席について
- (21) 初期臨床研修医の診療録記載に関する研修について
- (22) 診療録管理の業務実績
- (23) 診療録質的点検・量的点検結果について
- (24) 内部通報窓口の改善報告
- (25) 診療録記載改善の取り組みについて
- (26) 入院・退院記録の標準化について
- (27) 看護記録の記載改善について
- (28) 令和3年度医療法第25条の規程に基づく立入検査の結果について
- (29) コロナ禍における看護師の勤務状況について
- (30) 患者対応の現況について
- (31) 新型コロナウイルス感染症に対する取り組みについて

## 5. 委員からの指摘と課題及び改善策

○指摘：医師のヒヤリハット・アクシデント報告件数をさらに増やすよう取り組んでいただきたい。

○改善策：医師に対して報告は、再発防止に結び付けていく上で重要であること説明し、今まで以上に働きかけていく。

## 6. 監査結果

- (1) ヒヤリハット・アクシデント報告について、医師の報告件数が増加していることを確認した。今後も引き続き取り組んでいただきたい。
- (2) 診療録の質的点検を更に充実させていただきたい。
- (3) 高難度新規医療技術の導入について、高難度新規医療技術評価委員会での適正な審査のもと実施されていることを確認した。
- (4) 未承認新規医薬品等の使用について、未承認新規医薬品等評価委員会での適正な審査のもと細心の注意を払い使用していることを確認した。

## 7. 講評

病院長および各安全管理責任者からの説明を受け、特定機能病院としての機能を十分発揮できる体制が充実していることを確認した。今後もこの体制を維持するとともに、更なる向上に努め、患者にとって安心・安全な最良の医療を行っていただきたい。尚、新型コロナウイルス感染症の再拡大が起きた際は経験を活かし対処していただきたい。